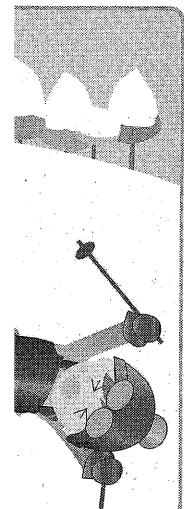


子どもの意思を大切に

最近は「カーリングペアレンツ」や「共依存」という言葉を耳にします。結論から言うと、これらはスポーツの世界では全

ない



ブレークしない子だからでしょう。頼りの娘に親はつい
うな子に親はつい
貸し、子も親を頼る「共依存」が目立
です。

驚くべき推薦入試も行つてゐます。一般に大学の推薦人試には、指定校推薦、学校長推薦、AO・自己推薦がありますが、さらに受験生の元を訪問し面接などを実施してくれるなど、まさに「安全安心・便利」な時代を象徴するかのような入試です。

わが国では1872年(明治5)年の学制発布以来、学校教育では寺子屋での個別教育に

精神的豊かさを求めて

訪問入試

先日「大学教員がアルファベットや小数・分数を教える日本橋学館大学が話題になつてゐる」という報道がありました。本来、小学校で修めるべき基礎学力から指導すると、いう大学がついに出現したと。実はこの大学は「訪問人試」という

C
C
78

南口し熟長の

子のやる気 親の気づき

最終章・ひとり教育再生の地域教育

冒世代の地域教育

代わり、学年別の一次教育が行われ今日の授業スタイルが作られてきました。そして100年以上たった今、高倍率の採用試験を乗り越えた優秀な教員が配置される学校教育で、1クラス数名の地方の小中学校でもいわゆる落ちこぼれが出てしまふ現実があります。

『安全・安心・便利』なライフスタイルの中で育てられてきた『ゆとり教育』世代の子どもたちは、特に集団でいう教育のシステムは見直す時期に来ているのかもしれません。塾でも、この時期はAO・推薦入試の締め切りを間近にした高3

生の志願理由書、面接、小論文指導に日々当たっています。先日も、高三男子に志願理由書の下書きをさせました。私は書類を手にしてがく然としました。「確認をお願いします」と持ってきてきました。私は書類にペンで下書きをしてきたのです。また顔写真も貼付されています。また書類に「3分間写真ではこのサイズを見たのか?」と注意をすると、「さあ…」と答え。事情をひと通り聞いてから「はさみで切れば?」と言つてあげると、「あつ! そうですね」と真顔で驚いていました。もちろん

面接練習も行っていま
す。先日は、やや緊張
気味の高三女子に本番
さながら「なぜ医者に
なりたいのか」と質問
をしました。すると
「はい。今の生活を維
持したいからです！」
とキッパリと言い切り
ました。確かにこの子
の父親は開業医で、毎
年数回、買い物のため
に韓国に渡るとは聞い
ていきましたが…。

兒童の

返信用封筒
に自分の住
所氏名を記
入する際、
自分に『様』
をつけるケ
ースはこの
男子だけで
はなく日常
茶飯事で
教室では
長) (畠山篤=志学塾熟
を求める子育て・教育
では、子は工夫する導
しさを知らないまま親
元を離れてしまいます
す。物的に豊かな時代
こそ、子にあえて苦労
を与えて、精神や感性の
空白を埋めていく、地
域ぐるみの本気の教育
が求められます。

25万人が来
か、関西に開
ソザニア甲子
県西宮市)も
アミューズメント
としては一応
収めたと言え
5周年を期に
サーのパビリ
生し、さらな
目指す。
キッザニア
コのKZM社
た屋内型テー

2006年
「プロンした子
の職業体験型
ワーク「キッ
京」(東京都江
開園5周年を